

よくある質問と回答

用語の定義.....	2
Q 1：想定最大規模降雨とは何ですか.....	4
Q 2：雨水出水浸水想定区域とは何ですか.....	4
Q 3：雨水出水浸水想定区域図と内水ハザードマップの違いは何ですか.....	4
Q 4：雨水出水浸水想定区域図で浸水することとなっている箇所は必ず浸水しますか.....	5
Q 5：雨水出水浸水想定区域の外であれば、安全であると考えて良いですか.....	5
Q 6：今まで浸水したことがない場所が浸水することになっていますが、本当に浸水するのですか.....	5
Q 7：河川からの溢水や高潮時の海からの溢水による影響は考慮されていますか.....	6
Q 8：雨水出水浸水想定区域図で 20cm 以上の浸水の深さが出る箇所を図示しているのはなぜですか（20 cm未満の浸水が発生した箇所は図示しないのですか）.....	6
Q 9：雨水出水浸水想定区域内に居住している場合、どのようなことに注意すればよいですか.....	7
Q 10：雨水出水浸水想定区域内に居住している場合、どこに避難すればよいですか.....	7
Q 11：雨水幹線やポンプ場などの施設整備により、雨水出水浸水想定区域を消すことはできないのですか.....	7

【用語の定義】

<p>降雨強度 (mm/hr)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間雨が降り続いた場合の1時間あたりの降雨量で、雨の強さや勢いを表す。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間に同じ量の水をためるとき、どれくらいのスピードでいっぱいになるかを表しているのが「降雨強度」。 スピードが速い(勢いが強い)ほど、降雨強度が「強い」。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">1時間で同じ量の水をためるとき</div> <div style="text-align: center;"> </div> $\text{降雨強度(mm/h)} = \frac{\text{降雨量(mm)}}{\text{時間(h)}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">どれくらいのスピードか(勢い)</div> <ul style="list-style-type: none"> 50 mm/hrの雨は、滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)イメージ。
<p>浸水シミュレーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地盤の高さや地形の情報、雨水管やマンホール等の下水道施設、放流先の川や海の水位をコンピュータの中に再現し、そこに雨を降らせた場合の浸水状況を解析したもの。 雨水管に雨が流れ、雨水管がいっぱいになるとマンホールからあふれ、あふれた水は地盤の低いところに集まるという現象を再現している。
<p>計画規模降雨</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川を整備する際の目標とする降雨で、概ね100年に1回程度の確率で発生する降雨である。

【用語の定義】

下水道施設	・ 雨水を川や海に流すための雨水管や雨水ポンプ場、マンホール等の施設をいう。
アンダーパス	・ 道路や鉄道などの下をくぐり抜けるようにつくられている、周りの地面より低い道路。
溢水（いっすい）	・ 水があふれること。
水防法	・ 洪水、雨水出水（内水）、津波、高潮による水災を防御し、水害による被害を軽減するための法律。

Q 1：想定最大規模降雨とは何ですか

A：

- ・想定最大規模降雨とは、国土交通省が定める手法に基づき、想定し得る最大規模の大雨に対して雨量（降雨強度）及び時間推移（降雨波形）を設定したもので、概ね 1,000 年に 1 回程度の確率で発生するとされる降雨です。
- ・国土交通省が、全国を雨量や雨の降り方の特性が似ている 15 の地域に分け、それぞれの地域で観測された最大降雨量のデータをもとに想定最大規模降雨を設定しています。
- ・神戸市は近畿地区（概ね滋賀県から兵庫県東部エリア）に区分され、この地域の想定最大規模降雨は 147 mm/hr と設定しています。

Q 2：雨水出水浸水想定区域とは何ですか

A：

- ・想定最大規模降雨のときに、
 - ① 降雨量が下水道施設の排水能力を超えることで雨水を排水できなくなる
 - ② 放流先の河川水位や海面潮位上昇等に伴い雨水を排水できなくなる等により、道路側溝や下水道施設から水が溢れ、浸水が想定される区域のことです。
- ・この浸水想定区域を浸水の深さごとに色分けして地図上に示したものを、雨水出水浸水想定区域図といいます。

Q 3：雨水出水浸水想定区域図と内水ハザードマップの違いは何ですか

A：

- ・いずれも浸水想定区域を示した地図ですが、目的と想定する雨の規模が異なります。
- ・雨水出水浸水想定区域図は、水防法に基づき作成したもので、近年の気候変動や集中豪雨を踏まえ、市民の皆様に浸水のリスクや危機感を共有することを目的としています。想定最大規模降雨（概ね 1,000 年に 1 回程度の大雨）の際に、20 cm以上の浸水が想定される区域を示しています。
- ・内水ハザードマップは、市民の皆様が避難行動をとる際の参考としていただくことを目的としています。100 年に 1 回程度の大雨の際に、20 cm以上の浸水が想定される区域を示しています。あわせて、水害時の避難場所や避難方法などの防災情報も掲載しています。

Q 4：雨水出水浸水想定区域図で浸水することとなっている箇所は必ず浸水しますか

A：

- ・雨水出水浸水想定区域図は、想定最大規模降雨を再現した浸水シミュレーションの結果をもとに作成しています。
- ・しかし、浸水する区域や深さは、実際の雨の降り方や土地の形状、放流先の河川水位や海面潮位の影響などにより変化します。そのため、大雨の際に必ず雨水出水浸水想定区域図通りに浸水するというわけではありません。

Q 5：雨水出水浸水想定区域の外であれば、安全であると考えてよいですか

A：

- ・浸水する区域や深さは、実際の雨の降り方や土地の形状、放流先の河川水位や海面潮位の影響などにより変化します。また、落ち葉などによる道路側溝の詰まりによる道路冠水や、局部的に窪んでいる場所、建物内の地下室の有無など、浸水シミュレーションでは再現できない要因もあります。
- ・そのため、浸水想定区域外であっても浸水する可能性がゼロというわけではありません。

Q 6：今まで浸水したことがない場所が浸水することになっていますが、本当に浸水するのですか

A：

- ・雨水出水浸水想定区域は、下水道施設の能力を大きく上回る大雨が発生した時に浸水する可能性のある場所を示すものです。
- ・過去に浸水したことがない場所であっても、これまで経験したことがない規模の大雨が降る場合は浸水する可能性があるため注意が必要です。

Q 7：河川からの溢水や高潮時の海からの溢水による影響は考慮されていますか

A：

- ・雨水出水浸水想定区域は、下水道施設から水があふれることによる浸水を再現したものであり、河川からの溢水（洪水）や高潮による海からの溢水の影響は考慮していません。また、河川から離れた場所であっても、下水道施設の能力を大きく上回る大雨が降ると、浸水が発生することがあります。
- ・河川からの溢水（洪水）や、高潮による海からの溢水による浸水想定区域については以下の図をご参照ください。

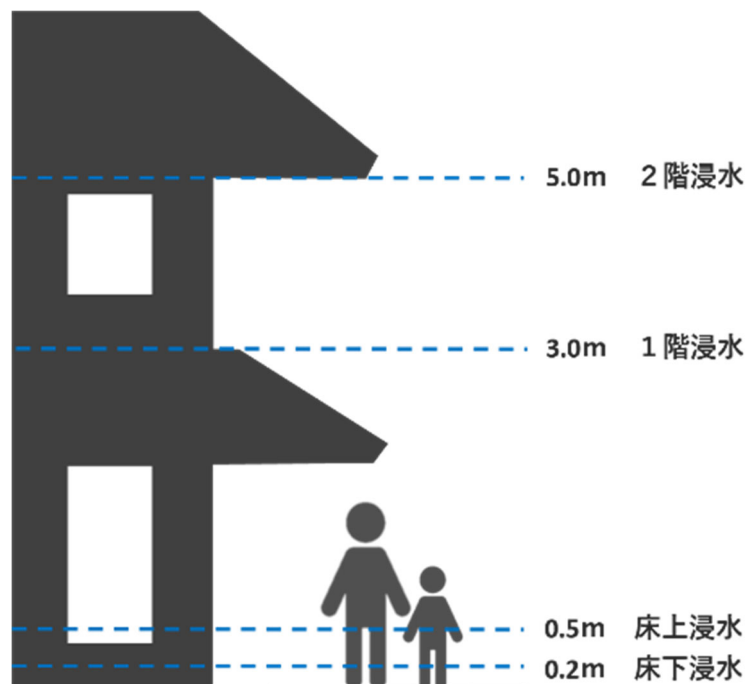
※河川の洪水による浸水想定区域・・・（[洪水浸水想定区域図](#)）

※高潮による海からの浸水想定区域・・・（[高潮浸水想定区域図](#)）

Q 8：雨水出水浸水想定区域図で 20cm 以上の浸水の深さが出る箇所を示しているのはなぜですか（20 cm未満の浸水が発生した箇所は図示しないのですか）

A：

- ・乗り物や徒歩での移動に支障が生じる深さである「20 cm以上」の浸水が想定される場所を示しています。
- ・「20 cm未満」の浸水については、移動や避難行動への影響が比較的小さいことから表示していません。



Q 9：雨水出水浸水想定区域内に居住している場合、どのようなことに注意すればよいですか

A：

- ・浸水の深さが 20cm 以上になると、乗り物での移動が困難になり、徒歩での移動にも支障が出ます。
- ・また、内水はん濫は雨が降ってから浸水が生じるまでの時間が短いため、早めに避難することが重要です。
- ・地下空間やアンダーパスなどは、あふれた雨水が溜まりやすく、浸水が想定よりも深くなることがあるため、大雨の際にはこれらの場所には近づかないように注意が必要です。

Q 10：雨水出水浸水想定区域内に居住している場合、どのように避難すればよいですか

A：

- ・避難方法には、浸水想定区域から離れた場所に移動する「水平避難」と、頑丈な建物の 2 階以上に移動する「垂直避難」があります。
- ・状況に応じて、「水平避難」と「垂直避難」を使い分けることが重要です。
(例 1) 浸水の深さが 3 m 未満の場合、2 階以上の安全な場所がある場合は「垂直避難」、安全な場所がない場合は「水平避難」を考える必要があります。
(例 2) 浸水の深さが 3 m 以上のとき、3 階以上の安全な場所がない場合は「水平避難」を考える必要があります。
- ・ただし、夜間や危険が差し迫っている場合など、「水平避難」が困難な状況の場合は、隣接する頑丈な建物の 3 階以上にとり急ぎ避難する「垂直避難」も必要となります。
そのため、日頃から避難方法や避難経路を確認し、いざという時に備えておくことが大切です。

Q 11：雨水幹線やポンプ場などの施設整備により、雨水出水浸水想定区域を消すことはできないのですか

A：

- ・神戸市の下水道は、概ね 10 年に 1 回程度発生する雨を基準に整備していますが、雨水出水浸水想定区域はそれを大きく上回る非常に強い降雨（概ね 1,000 年に 1 回程度の確率で発生する降雨）を想定しています。
- ・そのため、下水道施設の整備により浸水の範囲や深さが小さくなる可能性はありますが、想定最大規模降雨を前提とした浸水想定区域を完全になくすことは困難です。
- ・想定最大規模降雨による水災害に対しては、下水道施設などのハード対策だけでは限界があるため、一人ひとりが命を守るための避難行動をあらかじめ考えておくことが重要です。